

KSKQ どかどか No.281 にゆーす

ぽぽんがぽん News



笑顔あふれ つながりあえる社会へ
～ひとりひとりが自分らしく生きてゆけるために～

2020年 あけまして おめでとうございます。

新年あけましておめでとうございます。旧年中も多くの皆様からお力添えいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。本年もご指導ご鞭撻いただけますようお願い申し上げます。

さて、2019年を振り返りますと3月には障害者委託相談・地域包括支援センター・CSWのプロポーザルが行われました。ぽぽんがぽんとしては、従来通りの中央圏域（茨木・中条エリア、大池・中津エリア）を無事に継続受託することができました。これまでの実績が評価された結果だと考えています。茨木市内全域で見ると、これまで7圏域を7事業所で担当していた体制が、14エリアを10事業所で担当する体制となりました。今のところ、大きな影響等は聞こえてきていませんが、今後、福祉5圏域の体制整備等の動向も含めて注視していきたいと思えます。

また、2019年6月には、ユースプラザcenterのプロポーザルが公募され、ぽぽんがぽんもエントリーし、3候補が競合しましたが、こちらは無事に受託することができました。子ども若者自立支援センターくろすの相談支援実績と、ユースプラザの事業展開アイデアが評価いただけた結果と受け止めています。同年7月よりユースプラザcenter「エント」として活動を始めています。これらの事業は、同年5月に発生した川崎市のカリタス小学校の殺傷事件、相次いで発生した農林水産省元事務次官による長男殺傷事件による社会的関心の高まりもあり、2019年度は相談件数が急増しています。障がいの有無に関わらず、生きること、暮らすことに障壁が生じてしまっている方々はまだまだいらっしゃるということを痛感しています。引き続き茨木市と実態や潜在ニーズをしっかりと共有し、社会資源の拡充に取り組んでいきます。

2019年は、新聞やNHKなどのメディアに取り上げただけの機会も多くありました。その中でも、ぽぽんがぽんで20年前から実践してきた重度知的障がいの方の1人暮らし支援がNHKに取り上げられたことは、嬉しい出来事でした。また、映画「道草」の全国上映も開始され、注目を集め始めています。ぽぽんがぽんの原点の1つでもある、重度知的障がいのある方の地域での1人暮らし支援について、先駆者としての自覚と誇りと責任をもち、事業の安定・継続に止まらず、地域への拡充を目指す取り組みをしていきたいと考えています。

本年も皆様と共に歩んでゆきたいと思えますので、よろしくお願ひします。

（事務局長 水野昌和）

一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月（1・2・3・4・5・6・7・8の日）発行

目次

- 1頁 新年のごあいさつ
- 2頁 つながりまつり開催報告とお礼
- 3頁 しょうがい福祉フェスタ報告
- 4頁 各場（事業）から・スタッフ紹介

- 5頁 つながりの会ぽぽんがぽん後援会より
- 6頁 授産製品のご案内
- 7頁 寄付金等のお礼
- 8頁 編集後記

【付録】映画上映会のご案内

第38回「つながりまつり」にご協力いただきありがとうございました

10月20日(日)、茨木市中央公園南グラウンドにて開催いたしました

「第38回つながりまつり」は、天候にも恵まれ大勢の方にご来場いただき、楽しく盛大に終わることができ実行委員一同ほっと胸をなで下ろしました。

これも、リサイクル品の提供をはじめ、ピラ配布、ポスター掲示、備品の借用、前日当日準備の手伝いなど、皆様に細部に至るまでご協力いただいたおかげと深く感謝いたしております。

年々声をかけてくださる方が増え、地域社会の中で生活を繰り返していくことの必要性をあらためて考えさせられる場となっており、今後の活動につなげていこうと再確認しているところです。

来年もさらに新たなつながり、出会いをめざし「第39回つながりまつり」を開催したいと思っております。今後とも、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。(つながりまつり実行委員長六條友聡)



後援		
茨木市	茨木市教育委員会	茨木市社会福祉協議会
茨木商工会議所	茨木市観光協会	一般社団法人茨木青年会議所

《出演・音響・手話協力》(順不同・敬称略)

茨木高美幼稚園	BOOMスマイルクラス	イトセトラir	キングベリークラブ
津軽三味線チーム 恵美乃助	Plus	ぼぼんがぼん	梅花女子大学 チアリーディング部 RAIDERS
Halau O kaoha kahikina onapua kukui	茨木音楽祭(音響)	茨木市障害福祉課(手話通訳)	



《広報協力》(順不同・敬称略)

阪急バス株式会社 茨木営業所	シティライフ	サンケイリビング	中条地区自治会連絡協議会
茨木市観光協会	ママのおでかけ応援「まみたん」	たくさんの地域のみなさま	関係機関のみなさま

《ボランティア協力》(順不同・敬称略)

追手門学院大学	大阪府岡医歯大学	関西大学 学生団体式U.M.C	大阪人間科学大学
立命館大学	大阪府立茨木高等学校	大阪府立茨木西高等学校	ボランティアセンター

《出店協力》(順不同・敬称略)

社会福祉法人 ぶくぶく福祉会 トリーマーぶくぶく	サポートユニオン with you	関西よつ葉連絡会(株)淀川産地直送センター	NPO法人 自立生活センター ぼくせつ24	くろうぶすばる
たゆた	山下いきの店	反核平和フェスティバル実行委員会	NPO法人 海空太陽正会員 香りの風	公益財団法人日本アニマルトラスト 動物の福児院 ハッピーハウス
野乃島 茨木梅之本陣	山口納豆	いばらき竹灯籠実行委員会	小松屋	ハーモニー教育研究所
射場石利石材株式会社	太陽とごぼん	福祉交流会Knyta	福祉ネイルスペースpetal	茨木市立就労支援センター かの木園
茨木市障害者地域自立支援協議会	lina Style (株式会社 六條工務店)	放課後等サービス Plus	「ぼぼんがぼん1号店」	茨木しよう会 「リサイクル衣類&バザーの店」



《協賛協力》(順不同・敬称略)

いばらき竹灯籠	大原茨木ワイズメンズクラブ	有勢やまのあおぞら	柏原デント株式会社	株式会社 茨木設備工業	株式会社 北野商店	株式会社 六條工務店	絆子の玉野 医急茨木駅前店
関西よつ葉連絡会	美味肉家 龍崎	株式会社 杉山工務店	スーパー かまだ	かみや 会計事務所	株式会社 淀川産地直送センター	La liberte	炭火焼くすの 周阿家
野乃島 茨木梅之本陣	不動産 大福商会	Jun&Pepper's Cafe	ENERGY GARDEN	光薬局	茨木モーターズ	株式会社 清田商店	キムロ道具店
花キュービッド つきはら花園	株式会社 日生建設	有限会社 土田塗装	株式会社 ホロスプランニング	Crepe&Drink Hug	CAFÉ & BAR i	eve-creative	たんばほ学園
行政書士 寺田法律事務所	株式会社 塩塚	佐々木総理 株式会社	真島の扉	大隈 リペアセンター	Link	株式会社 宮田ラフック	株式会社 ナフ 緊急茨木店
株式会社 TERASEED	学校法人清和学園 彩都駅東幼稚園	株式会社 アイフレット	カーテンロイヤル ショップSOEY	株式会社 コアプランニング	株式会社 ヨシトールホーム	株式会社 掛倉工務店	株式会社 西田建園土木
弁護士法人まことまこと法律事務所	くしりまや えんや	四ツ葉クリーニング	K*プランニング	スペインバル ハロロコ	株式会社 Do	Cie Rosso	株式会社 光希工業
酒屋 次郎長(本店)	クレープソー 美容室	中原良二の 美容室 パーマ屋	Natural WAVE	美容室 ローズイ	ヘアアンドメイク ララ	ブラッシュアップ 16.5.E.C	美容室 アロード
ビューティ&アリエイフ	ベーカーリー K2	射場石利石材 株式会社	太陽とごぼん	イオンスタイル 新茨木店	石焼きそば 四季料理 庵	焼肉 味よし	田中商店
株式会社 保田印刷	一般社団法人 茨木青年会議所	株式会社 工業建設	らーめん 野輝	小松屋 株式会社 xyz	ジュエリー白金堂 アロマリヘム	有限会社ピクニック 尻田弘之	トータルグリーン コーディネーター 塚園



第11回「しょうがい福祉フェスタ」開催報告

2019年11月11日（月）、茨木市障害者地域自立支援協議会主催「第11回しょうがい福祉フェスタ」を開催しました。

今年のテーマは「重度知的障害者の自立生活」。
午前中は重度知的障害者が介助者（ヘルパー）と共に一人暮らしをしている様子を描いたドキュメンタリー映画「道草」の上映会を行い、午後は映画出演者の亮佑さんの父、岡部氏の講演と協議会会長の三田氏、映画出演者の岡部氏、末永氏、ぼぼんがぼんの田井氏の4人で「重度知的障害者が地域で暮らすには」というテーマでトークセッションをしていただきました。1日通して濃い内容となりました。



今回のテーマ・内容にしようと考えたのは、昨年3月に岡部さんの講演を聞き、まだ映画「道草」になる前の亮佑さんの映像に出会ったのがきっかけでした。その後完成し上映された映画「道草」を見て、この映画の内容を広めたいと思い企画しました。

ぼぼんがぼんでも重度知的障害者の自立生活（一人暮らし）を支援していますが、そういった生活をしている方がいることを知る人が少なく、相談支援をしている中でも将来は施設入所しか選択肢が無いと考えている親御さんと多く出会います。そんな中でこの映画「道草」の映像は強いインパクトを与えるだろうと考えました。

一般的に多くの方が関心のある内容ではないかもしれない…と企画段階では少し不安を感じていましたが、多くの方にご来場いただき、大盛況でした。アンケートでも、「外出中の当事者の表情がとても素敵」、「いろいろ知ることができて希望が持てた、全て親に子どもの人生がかかっていると思っていたが、介護者の方に協力してもらったのも良いのだと思った」等の感想があり、このような生活を選択肢の一つとして提案できて良かったです。

トークセッションで、ヘルパーを利用しての一人暮らしの生活サイクルの中で、「何曜日のヘルパーとはこんな感じ」というのが本人とヘルパーの間に出来てくる、それが1ヵ月、半年、1年と続いていく。本人がベテランになってくるとヘルパーが初めてでもまあ何とかなる（笑）みたいな話がとても印象的でした。

映画出演者のような暮らしの選択肢があるということ、その生活に寄り添い支援している支援者が居ること、来場していただいた皆様には伝わったかと思えます。支援の専門性も大事ですが、出会うこと、一緒に過ごしてみることからだと再認識しました。それには、地域の中に居ることが重要です。

トークセッションにヘルパー派遣の田井さんに入ってもらい、茨木市内での実践を伝えてもらったのも良い機会になったかと思えます。支援者の不足等大変な部分もありますが、ぼぼんがぼんで支援してきたことをポジティブに発信していくことで、関わる人も増えていけばと思います。

（相談支援部門 磯村翔子）

こんにちは。今回は「茨木市立障害者就労支援センターかしの木園」について紹介をさせていただきます。「ぽぽんがぽんなのに茨木市立？」と思った方もいるかもしれません。

かしの木園は指定管理制度により、ぽぽんがぽんが運営や管理の代行を行っています。

ぽぽんがぽんの指定管理になって7年目ですが、かしの木園自体は30年以上前からある地域に根付いた事業所です。現在、かしの木園では【就労継続支援B型】【自立訓練（生活訓練）】【就労促進（茨木市委託事業）】の3つの事業を行っています。

就労継続支援B型では、軽作業・外出作業・自主製品の作成・職場実習・園外活動などを通して就労に向けた取り組みを行っています。

自立訓練（生活訓練）では、少人数でそれぞれの目標に合わせたプログラムを行っています。就職を目指す方、生活リズムを整えたい方、家事が出来るようになりたい方など利用の

目的は様々です。

就労促進事業では、就職に関する相談や共同受注・共同出店を行っています。

共同受注・共同出店はかしの木園が窓口になり、1つの事業所だけでは難しい大口の仕事を複数の事業所と連携して請け負ったり、商品を預かりイベントなどで各事業所の商品を販売したりしています。

これからも地域とのつながりを大切にしながら、利用者さんと一緒にそれぞれの目標に向かって歩んでいきたいと思っています。（自立訓練支援員 橋本愛）



スタッフ紹介

就労支援部門

またまたかしの木園の橋本です。3年前自立訓練（生活訓練）事業を始める時に、かしの木園に異動になりました。それまではグループホーム部門にあり、気づけばぽぽんがぽんで働き始めて10年以上が経ちました。夜型だった生活もすっかり朝型の規則正しい生活になりました。

休日はライブに行っている事が多いです。ドームから小さなカフェまで色んな所に行きます。

無名なアーティストでも素晴らしい方は沢山いますが、その話を始めるときりが無いので今回は止めておきます。

旅行も楽しみの1つです。先日も石垣島を中心に八重山諸島巡りに行ってきました。自然と生き物が大好きなので、ずっとはしゃぎっぱなしでした。なまこを見つけた瞬間のこの笑顔が全てを物語っているかと思っています。どちらも日常とは全く違う時間を過ごす事が出来るのが魅力です。

「目標に向かう為にどんなプログラムが必要か？」利用者さんと一緒に考える時、支援員の知識や経験はとても重要だと思います。これからも色んな経験をしながら、日々勉強で成長していきたいと思っています。（橋本愛）



なまこデス

かくば
各場から
就労支援部門

しゃかいふくしほうじん 社会福祉法人ぽぽんがぽん こんごうかい 後援会
「つながりの会 ぽぽんがぽん」

さくねん しゅうちゅうこうう たいふう・・・と日本各地で自然災害の多い一年で
した。災害に対して日々の心構えや地域との関わりが大切だという
事を実感します。中々復旧も進まないようで、被災された皆さまに
は一日も早い日常が戻る様にお祈りいたしております。



後援会の活動として、2019年9月21日に交流会を開催しました。
2018年は地震直後ということもあり開催を見合わせました
ので、久しぶりの交流会に皆さん楽しみに参加していただきました。



休憩のお茶とお菓子で懇親会タイムをはさみ、卓球台3台を
使い、2台は普通の卓球を、もう1台は後援会考案のスマートピン
ポンを。シングル、ダブルスの試合形式だったり、続けて何回・・・
と遊び要素を取り入れた試みも。その横ではスマートピンポンで、
はじかせたり転がしたり、なかなか入らない100点に入ると拍手
や歓声が上がって大盛り上がり・・・老若男女、誰でも参加できる
遊びに一喜一憂、楽しい時間でした。



重度知的障がい者の自立生活描いた「道草」という映画があり
ます。京都・大阪で上映された折り、私たちの仲間で茨木市内で
自立生活をされているOさんが支援者と一緒に舞台挨拶に招待さ
れ登壇し、自立生活について話されました。また、NHK Eテレ
のバリバラにも出演されました。

映画「道草」は茨木市でも11月の「しょうがい福祉フェスタ」
で上映され、市内・外から会場一杯の方々にご覧いただきました。
平日の開催でしたので、仕事で見て頂けなかった方も多かったの
ではと思い、後援会と茨木しょうかい（略称）共催で上映会をす
ることにしました。まだご覧になっていらっしゃる方は、是非見に来てください。

日時：2月2日（日）14：00～16：30
場所：茨木市障害福祉センター「ハートフル」 大会議室
内容：「道草」の上映会、バリバラ出演の様子・・・など

是非、ご覧いただき、障がいがあっても地域で暮らすということへの理解、支援につなげていただけたら
と思います。（村上和子）

ごきふ きょうりょく
ご寄付ご協力ありがとうございます！



ごきふ など おれい
ご寄付等のお礼 2019年8月27日～2019年11月26日まで（順不同）

ゆうびんりかえ つごうじょう おなまえ はんえい ばあい じごう けいさい
※郵便振替の都合上、お名前が反映できていない場合は次号にて掲載させていただきます。

しゃかいふくしほうじん ごきふ きょうりょく
● 社会福祉法人ほぽんがぽんへのご寄付ご協力ありがとうございました。

鎮山様 大島様 六條工務店様 匿名の皆様

ご寄付をご希望される方は、
申込書が必要となりますので
社会福祉法人ほぽんがぽん
(072-623-9202)まで
ご連絡ください。

かい こうえんかい ごきふ きょうりょく
● つながりの会ほぽんがぽん（後援会）へのご寄付ご協力、ありがとうございました。

ごきふ いたいたかたがた
【ご寄付頂いた方々】 藤岡様 匿名の皆様

ほきんぼこ ごきょうりょく かいしゅう
【募金箱のご協力（回収）】 小野様 村上様 匿名の皆様

かん ようひん きゅうにゅう ていきょう
● アルミ缶・バザー用品・牛乳パック提供ありがとうございました。

【バザー用品】

谷川様 森本様 坂田様 堤様 楠田様 東様 作業所へ持参して下さった皆様 匿名の皆様

【アルミ缶】

谷口様 浅野様 ハロハロ様 植木様 舟橋様 作業所へ持参して下さった皆様

【牛乳パック】

関西よつ葉連絡会淀川産地直送センター様 菜の花障害者相談支援センター様
作業所へ持参して下さった皆様



ぶつびん れいぞうこ せんたくき でんし ていきょう
● 物品（ピーラー、冷蔵庫、クッキングヒーター、洗濯機、電子レンジ、クリアブック）のご提供ありがとうございました。

作間様、伊豆原様、太田様

ごしえん ごきふ ごていきょう こんご おねがいもうしあげます
ご支援、ご寄付、ご提供ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

かん ようひん かきしせつ おうけとり
アルミ缶・バザー用品は、下記施設でお受け取りさせていただきます。

〒567-0850 大阪府茨木市真砂玉島台 8-20 いばらき自立支援センター「ほかほか」 ☎072-635-5762

〒567-0842 大阪府茨木市五十鈴町 7-29 いばらき自立支援センター「どかどか」 ☎072-637-6882

〒567-0031 大阪府茨木市春日 1-15-22 茨木市立障害者就労支援センター「かしの木園」 ☎072-626-5910

〒567-0888 大阪府茨木市駅前 1-4-14-3F 社会福祉法人ほぽんがぽん ☎072-623-9202

いばらきしりつしょうがいしゃしゅうろうしえん
茨木市立障害者就労支援センターかしの木園

きえん
自主製品のご案内



くみひも人形 150円	くみひも人形 (ミニ) 150円	お花畑シール 150円	きらきらビーズ 150円	あみあみストラップ 400円
お花ヘアピン 150円	ボタンビーズ 150円	お花リボン 300円	手をつなごう 500円	動物マグネット 150円

上記の商品はかしの木園・レインボーショップ・ふれ愛たかつきなどでお買い求めいただけます。
茨木市立障害者就労支援センターかしの木園 ☎072-626-5910 メール ibarakishi_kashinokien@popongapon.com

いばらき自立支援センター「ぽかぽか」「どかどか」自主製品の



<p>あくりるハンディモップセット (あくりるモップとあくりるたわしのセット)</p> <p>(大)500円 (小)400円</p>		<p>どんぐりくりっぷ</p> <p>各100円</p>	
<p>ぬのぞうり</p> <p>XS(13~18cm)1000円 S(19~21cm)1000円 M(22~24cm)1000円 L(25~27cm)1200円</p>		<p>ちびぞうり根付け</p> <p>直径約3cm 450円</p>	<p>てすきふうとう</p> <p>同柄5枚入 200円</p>

上記の商品以外にもまだまだあります。お買い求めの方は、下記へご注文をお願いします。

いばらき自立支援センター「ぽかぽか」 ☎072-635-5762 メール pokapoka@popongapon.com

編集後記

このところ思ったこと。

・ぼぼんがぼんで職員対象に「ハラスメントのない職場を目指して」というテーマで弁護士の齋藤朋彦さんを講師に研修会を実施した。法律のこと、大企業においてもハラスメントが起きていること等裁判の判例や、具体的事例もあげていただき、勉強した。

・ぼくが会長をしている茨木市障害福祉サービス事業所連絡会居宅介護部会で「介護保険併給」をテーマに研修会をおこなった。障大連の細井清和さんを講師に、障がい者が65歳になっても引き続き障害福祉サービスが使えるのかを勉強した。介護保険の申請をしなかった場合に障害福祉サービスの支給決定を止められたことに関する裁判の判例など説明があった。

以上のようなことに取り組みながら、自分自身、事業所の運営管理をする立場から、いろいろと思った。

事業運営にあたっては、法令遵守（コンプライアンス）が求められる。そのことを強く意識して、日々運営管理に取り組んでいるのだが、そもそも、それらの法制度は、何のためにあるのか？職員をハラスメントから守るため、つまり職員の人権を守るためであり、障害者が65歳になったときに、これまでの生活ができなくなることを防ぐため、つまり障がい者の人権を守るためである。

事業者の立場では、これらの法令や裁判の判例などを、事業者を守るためのリスクマネジメントとして、考えるのだが、そもそもの目的は、職員や、障がい当事者、一人一人の人権を守ることではなかったのか。人権を守るために、法制度（ときには訴訟も）は必要である。そのために障がい当事者の努力によって、障害者差別解消法ができ、茨木市においても「茨木市障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例」ができた。組織を守ることを考えるとき、それらの法制度の本来の趣旨が二の次になってしまわないように気をつけようと思った。

（太田吾郎）

【 社会福祉法人ぼぼんがぼん 各場連絡先 】

- 法人本部、ヘルパー派遣、グループホーム窓口、相談支援、移動送迎
〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F Fax 共通 072-623-9203
法人本部、グループホーム窓口、移動送迎 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)
ヘルパー派遣 Tel 072-623-9205 (9:00~18:00)
相談支援 Tel 072-623-9210 (9:00~17:00)
- いばらき自立支援センター「ぼかぼか」 (9:00~17:00)
〒567-0850 茨木市真砂玉島台 8-20 Tel 072-635-5762 Fax 072-635-5763
- いばらき自立支援センター「どかどか」 (9:00~17:00)
〒567-0842 茨木市五十鈴町 7-29-1FS Tel 072-637-6882 Fax 072-637-6883
- 茨木市立障害者就労支援センター かしの木園 (8:45~17:15)
〒567-0031 茨木市春日 1-15-22 Tel 072-626-5910 Fax 072-626-5912
- 放課後等デイサービス Plus (10:00~18:00)
〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F Tel 072-665-5005 Fax 072-623-9203
- 茨木市子ども・若者自立支援センターくろす (10:00~19:00)
〒567-0842 茨木市片桐町 4-7 Tel 080-2467-5566
- ユースプラザ center エント (10:00~19:00)
〒567-0882 大阪府茨木市元町 4-7 ローズ WAM2 階 事務室 Tel 080-1521-4624



編集人：「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」 Tel (072) 623-9202 (お問い合わせはこちらまで)

〒567-0888 茨木市駅前1-4-14 エステート茨木駅前3F 社会福祉法人ぼぼんがぼん (法人本部)

発行人：関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪府天王寺区真田山町2-2東興ビル4F

定価：50円